



平成 28 年 2 月 5 日

各 位

会社名 ダイトエレクトロン株式会社
代表者名 代表取締役社長 前 績行
(コード番号 7609 東証第1部)
問合せ先 上席執行役員 管理本部長 毛利 肇
(TEL. 06-6399-5041)

「平成 27 年 12 月期通期連結業績予想数値と実績値の差異」 及び「剰余金の配当」に関するお知らせ

平成 27 年 8 月 3 日に公表しました平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の通期連結業績予想と、本日公表の実績に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

また、平成 28 年 2 月 5 日開催の取締役会において、平成 27 年 12 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件につきましては平成 28 年 3 月 30 日開催予定の当社第 64 期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 業績予想値と実績値の差異について

(1) 通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	43,000	1,350	1,350	860	77.44
実績値(B)	43,214	1,542	1,537	1,131	101.91
増減額(B-A)	214	192	187	271	
増減率(%)	0.5	14.3	13.9	31.6	
(ご参考) 前期(平成 26 年 12 月期)実績	38,702	774	861	641	57.74

(2) 通期連結業績予想数値と実績値との差異の理由について

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界は、情報通信産業のスマートフォンやタブレット端末の需要の伸長率が前年度と比較して鈍化傾向にあるものの、自動車搭載用の電子機器関連分野の生産が好調に推移いたしました。

当社グループの業績につきましては、売上高はほぼ前回の予想どおりの結果となりましたが、利益面は製造装置分野やオリジナル製品の販売が伸長したことにより、前回公表した業績予想から大きく上回りました。

なお、セグメント別業績等の詳細につきましては、本日公表の「平成 27 年 12 月期 決算短信」をご参照ください。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 27 年 8 月 3 日公表)	前期実績 (平成 26 年 12 月期)
基準日	平成 27 年 12 月 31 日	平成 27 年 12 月 31 日	平成 26 年 12 月 31 日
1 株当たり配当金	25 円 00 銭	20 円 00 銭	15 円 00 銭
配当金の総額	277 百万円	—	166 百万円
効力発生日	平成 28 年 3 月 31 日	—	平成 27 年 3 月 30 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 修正の理由について

当社グループは、株主の皆様への利益還元を最も重要な経営課題として位置づけ、財務体質の強化と内部留保に配慮しつつ、業績を加味した利益配分を実施していくことを基本方針としております。

平成 27 年 12 月期の期末配当につきましては、業績等を総合的に勘案した結果、平成 27 年 8 月 3 日公表の配当予想 1 株当たり普通配当 20 円から 5 円増配し、25 円とさせていただきます。

以 上